

アナログオーディオ & Newスタイルマガジン

平成21年7月20日発行(年4回刊) 第5巻第4号通巻24号 ISSN1349-595X

季刊・アナログ

# analog

2009  
SUMMER  
vol.24

アナログ関連  
豪華モニター大募集

記事はオールカラー!

特別付録 車の中でも音楽を満喫しよう!  
「High-End CARAUDIO 夏」

コブクロの黒田俊介さんが  
カートリッジを選ぶ!

永久保存版

## 世界の アナログプレーヤー ブランド ①

最新フォノイコライザー  
試聴レポート ③

- 至福の銘品! 音の五つ星物語
- 新世代管球アンプ試聴
- ビットインインタビュー「坂田明さん<後編>」
- モルトウイスキーの蒸留所を訪ねる
- 現役の骨董品 20世紀ラヂオ
- 最新レコード全30タイトルレビュー

好評連載  
銘機を鳴らす  
第10回「OCTAVE Jubilee Preamp+Mono」

いまこそクラシックカメラを楽しもう  
第20回「日本のお宝カメラ」



analog  
Grand Prix  
2010

# THALES TONARM THALES

¥1,680,000 トーンアーム

## 理想的なトレース性能を実現 異次元のS/Nが体験できる特別なアーム

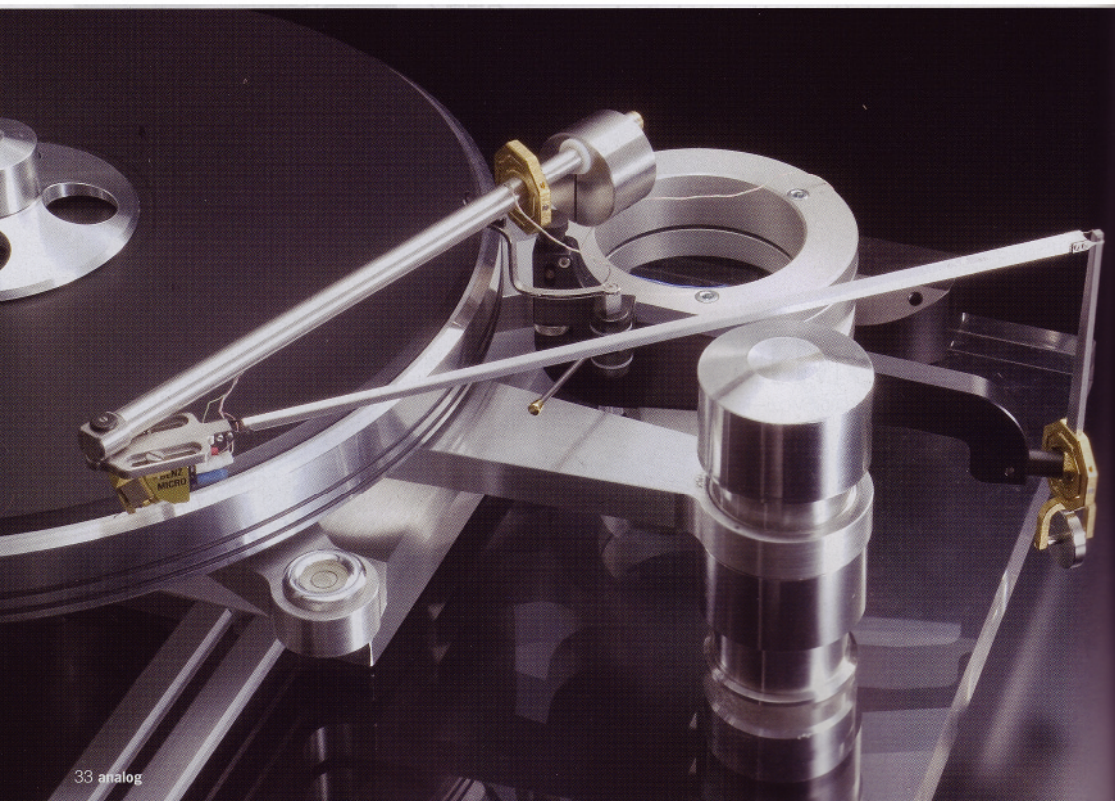
これまでにない外観を持つトーンアーム、THALES。  
このネーミングは古代ギリシャの哲学者タレスが説いた「タレスの定理」に由来する。  
肉眼では確認がたい小さな部品から加工され、  
精密に作り上げられたこのトーンアームは、  
まさにアナログ再生のために贅が尽くされた  
究極のモデルと呼ぶにふさわしい内容を誇っている。

Text by 山之内 正 *Tadasbi Yamanouchi*

極めて精密なパーツを高精度に組み合わせることにより、理想的なトレース性能を実現したトーンアームである。設計者ミッハ・フーバ氏が自ら手作業で製作する受注生産であり、入手には一定の期間がかかる。トーンアームの機構は複雑だが動きはシンプルで、円を描く短いアームに連動して長いアライニングアームがリニアに動くという仕組みだ。その動作が「タレスの定理」に関連することが名称の由来だが、肝心な点は軸受けなどの機構がなめらかに動作することにある。カルダニック・ベアリングと呼ばれるベアリングを軸受けに採用して摩擦を極限まで低減し、驚くほどなめらかな動作を実現している。異次元のS/Nを体験できる特別なアームだ。

### Spec

- 型式：スタティックバランス型 ●搭載可能カートリッジ重量：5～25g ●受注生産
- 取り扱い：(株)ユキム





## トトラックエラーを完全に 排除できる画期的なモデル

アナログオーディオの長い歴史の中で、本機のようなトーンアームの誕生を誰が予測できただろうか。

一般的なオフセットアームは、カートリッジが円弧状に盤面を移動するためトトラックエラーが発生する。それを克服できるリニアトトラック方式のトーンアームは比較的早い時期に登場し、数多くの製品が実用化された。しかし、種々の問題があり、現在ではわずかなブランドしか残っていない。本機は従来のトーンアームを見慣れた目には奇異な印象を与えるが、トトラックエラーを完全に排除できる画期的な製品なのだ。

モデル名のThales (ターレス) は古代ギリシャの哲学者ターレスに由来する。本機の基本構造と動作原理は、そのターレスが証明した半円の弧に対する円周角は90度になるという定理を応用したものだ。

本機は従来のオフセットアームにあたる短いストレートアームと、カートリッジを支持しトトラックエラーを排除する長く細いホリゾンタルアーム (水平アーム) という2本のアームが組み合わされている。そのホリゾンタルアームの後端にはホリゾンタルアームが直線的にレコード内周へ移動するよう制御するバーチカルアームが取り付けられている。そして、このバーチカルアームは複雑な回転運動を可能にした超精密カルダニック・ベアリングを紹介

FIVE STARS

時計職人としての技術がベース

## THALES TONARM THALES

トーンアーム  
¥1,680,000

### Specifications

- 型式: スタティックバランス型 ●搭載可能カートリッジ重量: 5~25g
- 受注生産 ●取り扱い: (株)エキム



てバーに固定されている。

ホリゾンタルアーム先端のヘッドシェル部に機械的なガタや摩擦音が出たら、トラッキングエラーがなくなっても意味がない。ヘッドのベアリング部分は、設計者であるミッハ・フーバが手作りした25もの精密パーツで構成され、フリクションを感じさせることのないスムーズな動きを実現していた。

またトーンアームには共振がつかさずのものが、本機では軽量で共振しにくいマグネシウムを採用し、さらに不等長の3本のアームが相互にダンプリングし、共振を適切に制御している。

設計者のミッハ・フーバは、独立系の著名な時計設計者のアンドレアス・ストレーラーのパートナーとしてH・モーターのムーブメントを製作。またモリス・ラクローアのクロノグラフ・ムーブメントの開発・設計に協力し、さらにハリー・ウィンストンの複雑時計オーバースアのメカニズム製作に携わるなど、時計技師としても華々しいキャリアを積んできた。そんな彼だからこそ可能になった作品がこのThalesといえるだろう。

## アナログマスターに近い 自然な質感と情報量を引き出す

本機の各部のスムーズな動き同様、サウンドも実に滑らかで、これまでに聴いてきたアナログディスクのサウンドとは一線を画す鮮度の高さが感じられる。同時にトランジェントも向上しているのか、アナログにつきものの付帯音が確実に減少している

# 数学的考察と時計職人の技術が 高次元で融合し アナログの新たな可能性を切り拓く

Text by 小林 貢

Mitsugu Kobayashi

Photo by 田代 浩生

### Profile

昨年秋のインターナショナルショーで日本初上陸を果たした、スイスの新進ブランド、ターレストーンアーム。ブランド名は、「ターレスの定理」で知られる古代ギリシャの哲学者ターレスから取られているという。長短2本のアームが連動し、外周からレコードの中心に向かって直線にレコード盤を横切るように設計されたトーンアームTHALESは、これまでにない方式として注目されるモデルである。

ように思えた。

今回の試聴には、70年代後半に僕が制作に携わった2枚のジャズ系ソフトをはじめ多くの市販ソフトを持参した。僕が関係した作品では、制作途中で聴いたラッカー盤の音を思い出させる鮮度感と滑らかさが感じられ、歪みの少なさやSN比の高さはラッカー盤レベルに思える。またレギュラー盤と特別仕様の45回転盤を聴き比べると、Dレンジ、Eレンジの差が明確に現れ、45回転盤はアナログマスターを聴くような厚みを感じさせ、ポトムエンドの情報量や解像度の高さを45回転盤のメリットが際立つてくるように思える。そしてドラムスのパワフルなショットや大音量部分などでも、終始安定した定位感と音場感が得られていた。大編成オーケストラのトゥッティでも、濁らない透明度の高い音場が得られている。

一般的なアームでは針先の振動の反作用を受けてしまうが、本機は2本のアームで支えられ、カンチレバーがストレスなく正確に振動できることになる。このメリットとトラッキングエラーを排除したことの相乗効果が、ディスクからアナログマスターに近い自然な質感と情報量を有した、アキユレートなサウンドを生み出しているのだろう。

従来の聴き慣れたアナログの音とは異なり、いわゆるアナログらしさを演出する傾向や色づけ、圧迫感を感じさせない新世代のアナログサウンドといえる。

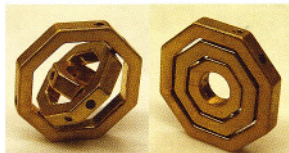
可動式ヘッドシェル部はホリゾンタルアームに直接取りつける



これまでにないルックスのトーンアームは、設計者であるミッハ・フーバが台座を手作りで製作している



バーチカルアームと支柱はカルダニック・ベアリングを介して接続される。ベアリングの下にあるのは、水平バランス



複雑な回転運動を可能にした超精密カルダニック・ベアリング

## 輸入元から

ターレストーンアームの主宰者であり、本モデルの設計者であるミッハ・フーバは、15歳から学校に行きながら時計職人の道を歩み始め、著名な時計製作者のパートナーとして活躍してきましたが、23歳の時に独立し、トーンアーム制作を開始しました。肉眼ではその形状を把握するのが難しいほどの小さな部品を自ら加工し、精密に組み上げられたこのトーンアームは、時計職人としての優れた技術と、彼の音楽への思いが集約されたものといっていでしょう。  
(株式会社ユキム)